

日本熱帯農業学会・JISNAS・ICREA 合同セミナー

2021. **3.27** (土) 15:30 – 17:00

開催形式: オンライン形式 (Zoom利用)

アフリカの農民と共に歩むSAA

Walk with the farmer in Africa

一般財団法人
ササカワ・アフリカ財団 (SAA)
理事長 **北中 真人 氏**



1982年、青年海外協力隊員としてホンジュラスに赴任。1985年、神戸大学農学部修士課程修了。同年JICAに入構し、パラグアイ事務所長や農村開発部長などを務める。2019年11月より現職。



米農家に対し稲の生育状況の確認方法を指導

参加申込

【参加費】 無料 (どなたでも参加できます)

所属・役職・氏名・E-mailをご記入の上、件名を「JSTA・JISNAS・ICREA合同セミナー申込」とし、農学知的支援ネットワーク (JISNAS) 事務局 (jisnas@agr.nagoya-u.ac.jp) までE-mailでお申し込み下さい。後日、参加者宛にURLをお送りいたします。

【申込締切】 2021年3月22日 (月)

【申込・照会先】

農学知的支援ネットワーク (JISNAS) 事務局
名古屋大学農学国際教育研究センター (ICREA) 内
(担当: 江原/服部)
TEL: 052-788-6166 FAX: 052-789-4222
E-mail: jisnas@agr.nagoya-u.ac.jp

主催: 日本熱帯農業学会 (JSTA)
農学知的支援ネットワーク (JISNAS)
名古屋大学農学国際教育研究センター (ICREA)

ササカワ・アフリカ財団 (SAA) は1980年代にアフリカの角で起きた大飢饉を契機に、笹川良一初代日本財団会長、緑の革命の父としてノーベル平和賞を受賞したノーマン・ボーローグ博士、ジミー・カーター元米国大統領により、1986年に設立されました。SAAは各国農業省と連携した実践的な農業普及制度の強化、農業大学との連携による中堅農業普及員の再教育といった人材育成事業を行ってきました。

現在は、生産から収穫後処理・農産加工、マーケティング、消費までの食料システム全体を意識した農業支援を行っています。更に2021年度からの新五ヶ年戦略では、環境再生型農業、市場志向型農業 (SHEPアプローチ)、栄養に配慮した農業を重点分野に掲げ、その推進のために農業普及のデジタル化にも取り組みます。

SAAの活動国はこれまでにアフリカ16ヶ国に及び、現在はエチオピア、マリ、ナイジェリア、ウガンダを重点国として事務所を置き、タンザニア、マラウイ、ベナン、ブルキナファソ、シエラレオネ、モザンビーク、ガーナを準重点国として農場人材育成を推進進めています。アフリカ農業の更なる支援のため、国内外の研究機関、大学、ドナーとの連携・協力を深めていく予定です。



SAAスタッフにより女性グループに農業技術指導